

意見交換会実施報告書

開催日時	平成25年11月8日 午後7時00分 ～ 午後8時35分
開催場所	社公民館
出席議員	二條 孝夫（責任者、報告者） 岡 秀子（司会） 太田 昭司（記録者） 神社 正幸（記録者） 平林 英市（報告者） 竹村 武人
参加市民数	7人
議会報告内容	平成24年度決算の概要について 昨年度のご意見・ご要望の検討状況について 議員定数等について
意見交換内容 (要望提言等)	<p>臭気問題について</p> <p>○発言1 臭気規制・臭気指数とはどのようなものか。</p> <p>☆回答1 臭いの規制には、物質濃度規制と臭気指数規制がある。物質濃度規制は、例えばアンモニアがどれくらいの濃度で含まれているかなどを調べる。臭気指数規制は、専門家が臭いを嗅いで調べ、臭気を判定する。地域によって、臭気指数による規制基準は異なる。平成26年度を目途に、市全域を悪臭防止法に基づいて規制することになっており、現在、審議会で審査中である。各地区でも説明会が開催されている。今後の動向等を見ていただきたい。</p> <p>健康教室について</p> <p>○発言2 140戸の地区であるが、17人位しか健康教室に出てこない。健康教室のお知らせを文書にして、一軒一軒渡した方がいいのではないか。また、あまり集まらないようならば、教室をやめた方がいいのではないか。あまりにも健康推進員の方が気の毒だ。</p> <p>☆回答2 各自治会に健康推進員の方がおり、尽力いただいている。本当に多くの方に参加して頂きたい。国保にも大きく関わってくる。今年、議会において「健康づくり推進事業」の事務事業評価を行ない、「見直し改善」という評価をした。地区によって事情はそれぞれ違うとは思いますが、自分の健康は自分で守る、という意識が大事である。特定検診や他の予防事業にも多くの方に参加して頂きたい。</p>

地区の憩いの場について

○発言 3

社地区には高齢者などが集まり、お湯に入ってゆっくり語り合うような憩いの場がない。また、社地区には議員がいないが、どのように要望をすればいいのか。

☆回答 3

まずは、どのようなものが必要であるか、自治会等で話し合っていたいただきたい。また、自治会等で陳情として提出していただければ、地元で議員がいなくても、議会でしっかり取り上げ、審査する。

社公民館の立地について

○発言 4

社公民館の東山の上には、大きな岩がゴロゴロしており、大きな地震があれば、公民館に直撃する可能性がある。公民館のすぐ南にあった保育園（第七保育園）が現在の場所へ移ったのは、子どもたちの安全を考えてのことだと推察する。現在、公民館には館長以下職員が数名常駐しており、ぜひ公民館と民俗資料館を安全な場所へ移してほしい。また、公民館は社南部の災害時の避難場所に指定されているが、本当にここが避難場所でもいいのかどうか考えてほしい。

☆回答 4

社公民館の移転については、地域課題調査の際に館長からも話を伺った。連合自治会等でご検討いただき、陳情として提出していただきたい。

また、耐震化されていない避難施設については、市でも耐震化について検討中である。市民の安全を第一に考えながら、社地区の皆さんにとって、どのような方法が一番良いのか、知恵を出して一緒に考えていきたい。

交通渋滞解消について

○発言 5

冬になると、常盤上一の国道とオリンピック道路の交差点から、社松崎まで交通渋滞が発生する。以前、松崎に、大町明科線でも松本方面に行けるといふ看板があったが、県道大町明科線に誘導する標識をたくさん付けたらどうか。

☆回答 5

新たな標識の設置により、県道での交通渋滞発生が懸念されるが、地区の陳情として提出していただきたい。ご意見として、行政側に伝える。

	<p>議員活動について</p> <p>○発言 6 議員活動の項目に「調査研究」とある。23%とかなり大きな割合となっているが、調査研究とはどんなことをやっているのか。</p> <p>☆回答 6 例えば、議会での質問のための調査、市民のみなさんの問題解決のために現地に赴いての調査、また、さらに調査が必要な場合は、書籍を購入して調べる時間も調査研究に含めている。</p> <p>議員になった理由、思いについて</p> <p>○発言 7 議員の皆さんが議員になられた時に、お金はもらわずに、市民のために働こうと思った人はいないか。</p> <p>☆回答 7 各議員に発言を求められたため、それぞれ議員になった理由、思いについて回答した。</p> <p>市の活性化について</p> <p>○発言 8 市内を見ても、シャッター通りなど寂しい限りだ。しかし、こんなにも恵まれた土地はなく、これを活かすために、ぜひ積極的に取り組んでいただきたい。市の都市計画マスタープラン策定委員を務めているが、20年後の大町を描いても想像がつかない。早く松糸道路を開通させることや市街地の活性化に取り組むなど、昔のような活気を取り戻すためにも、市長の尻を叩いてほしい。</p> <p>☆回答 8 市では、松糸道路、企業誘致は、最優先課題として取り組んでいる。市長も、全国を飛び歩いて企業誘致に必死に取り組んでいる。議員も、観光、市街地活性化について、一般質問で取り上げるなど、しっかり取り組んでいるが、今後も知恵を出し合いながら、また市民の皆さんからも情報を頂きながら、しっかり観光や活性化に取り組んでいく。ご意見として、行政側に伝える。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成25年12月24日

政策調整委員会委員長 様

上記意見交換会責任者 二條 孝夫 ㊤